

令和 4年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 情報システム戦略課

担当名: 住基ネット・マイナンバー担当

内線: 2264

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B15	住民基本台帳ネットワークシステム運営事業費		一般会計	総務費	市町村振興費	市町村連絡調整費	住民基本台帳ネットワークシステム運営事業費	
事業期間	平成11年度～	根拠法令	住民基本台帳法		針路	08 支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール	9, 10, 16
					分野施策	0805 デジタル技術を活用した県民の利便性の向上	SDGsターゲット	9-1, 10-4, 16-9
1 事業概要			5 事業説明					
市町村の区域を越えた住民基本台帳に係る事務処理及び国の行政機関等や県に対する本人確認情報の提供を行う「住民基本台帳ネットワークシステム」を運営する。			(1) 事業内容					
(1) システム運営費等 △1,728千円			ア システム運営費等 住民基本台帳ネットワークシステムの運用管理を行う。 181,444千円					
(2) 機器・回線賃借費用 △3,085千円			イ 機器・回線賃借費用 サーバー機器、業務端末等の賃借を行う。 8,498千円					
(3) セキュリティ対策費用 △1,270千円			ウ セキュリティ対策費用 セキュリティ研修、技術的検査を行う。 0千円					
(4) 消耗品及び修繕費用等 △1,692千円			エ 消耗品及び修繕費用等 バックアップ媒体等消耗品の購入等を行う。 708千円					
(5) 審議会費用・事務費等 △476千円			オ 審議会費用・事務費等 本人確認情報保護審議会を開催し審議を行う。 231千円					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)			(2) 事業計画					
			ア 平成14年度 一次稼働 (本人確認情報の利用開始)					
			イ 平成15年度 二次稼働 (住民票の写しの広域交付、住基カードの交付開始)					
			ウ 平成27年度 マイナンバー制度導入 (住基カードの廃止、マイナンバーカードの交付開始)					
			エ 平成28年度 マイナンバー制度導入に伴う業務端末の追加					
			オ 平成29年度 マイナンバー制度での情報連携の開始 (住基ネットによる符号の取得)					
			マイナンバーカード交付安定化のための増速					
			カ 平成30年度 パスポートセンター日曜開庁対応のための土日稼働開始					
			キ 令和元年度 旧姓併記、都道府県ネットワークの更改、代表端末・業務端末の一部更新					
			ク 令和3年度 都道府県サーバ集約センター更改、業務端末の一部更新					
3 地方財政措置の状況 普通交付税措置あり (単位費用算定)			(3) 事業効果					
			ア 市町村の範囲を超えた住民基本台帳事務により、住民の利便性の向上、行政の効率化を図る。					
			イ 国等の行政機関への本人確認情報の提供により、住民の利便性の向上、行政の効率化を図る。					
			ウ 公的個人認証サービスとの連携により、当該サービスの正確性を担保する。					
			エ マイナンバー制度を支える基盤システムとして、個人番号の生成や情報連携における符号生成を担保する。					
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.6人=24,700千円			(4) 補正予算の概要					
			ア 地方公共団体情報システム機構への負担金の額の確定等による減額					
予算額		財源内訳					一般財源	補正後の 予算額
決定額	△8,251						△8,251	190,881
現計額	199,132						199,132	

事業内訳書

事業名	住民基本台帳ネットワークシステム運営事業費		
単位事業名	システム運営費等	予算額	△ 1,728千円

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
役務費	△33	—	緊急連絡用携帯電話料金の通話料が見込みを下回ったことによる減
委託料	△1,414	—	ファイアウォール設定等委託料が見込みを下回ったことによる減
負担金、補助及び交付金	△281	—	本人確認情報処理事務等に係るシステム運営費負担金が見込みを下回ったことによる減
合計	△1,728	—	

単位事業名	機器・回線賃借費用	予算額	△ 3,085千円
-------	-----------	-----	-----------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
役務費	△669	—	回線費用が見込みを下回ったことによる減
使用料及び賃借料	△2,416	—	機器賃貸借費用が見込みを下回ったことによる減
合計	△3,085	—	

単位事業名	セキュリティ対策費用	予算額	△ 1,270千円
-------	------------	-----	-----------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△60	—	講師謝金の減 △3人分
委託料	△990	—	脆弱性業務検査委託の減 △1回分
負担金、補助及び交付金	△220	—	セキュリティ技術研修参加負担金の減 △2人分
合計	△1,270	—	

単位事業名	消耗品及び修繕費用等	予算額	△ 1,692千円
-------	------------	-----	-----------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△1,692	—	消耗品及び修繕費が見込みを下回ったことによる減
合計	△1,692	—	

単位事業名	審議会費用・事務費等	予算額	△ 476千円
-------	------------	-----	---------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△302	—	県内部監査等旅費が見込みを下回ったため
使用料及び賃借料	△174	—	会議室使用料の減 △1回分
合計	△476	—	